

KIP会オンラインセミナー

「大激動の時代、今後の経済と経営を見る眼」 ～コロナ後の成長産業と企業は～

企業を取り巻くマクロ環境は一層混迷を深めています。しかし、このような時代にも着実に業績をあげている企業が多くあります。そこには時代を超えた真理、消費者の心を射貫く秘訣があります。大激動の時代には小回りがきく中小企業の方が有利なのかもしれません。どのような企業が生き残っているのか、多数の企業事例を基にご紹介します。

◆配信期間◆ **令和4年9月21日（水）10：00～9月27日（火）17：00**

※お好きな時間に視聴可能です。

オンラインセミナー（YouTube配信 限定公開!）

◆対象◆ **KIP会会員限定**

◆受講料◆ **無料**

◆受講方法◆ 配信期間内に受講用URL / QRコードから視聴ください

◆講師◆ **東洋経済新報社 専務取締役**

田北 浩章（たきた ひろあき）氏

◆講演内容◆

- ① 「会社四季報」で読み解く日本経済のいま
- ② 例外的に「有事」がなかった時代
- ③ 「VUCA時代」、生き抜く企業の条件
 - ・「理念」と「徹底」
 - ・白銅～ダントツの顧客志向とプラットフォーム
 - ・ハピネット～世代・川上・川下、半径3社も周辺へ
 - ・キタムラ～マルチタスク、リテール企業へ変身し再生
- ④ 激動の時代、「反田恭平」から学ぶこと
- ⑤ こぼれ話



【講師プロフィール】

1960年大分県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、東洋経済新報社入社。

建設、医薬、証券、機械などの産業記者、『ベンチャークラブ』、『会社四季報』、『週刊東洋経済』の各編集長、編集部長、第1編集局次長兼証券部長、企業情報部長、取締役執行役員編集局長等を経て2016年常務取締役、2020年より現職に就く。

他、日本IR協議会優秀企業選考委員、拓殖大学客員教授、政府有識者会議委員も務める。産業と企業に精通。

ベンチャー企業から大企業まで数千人の経営者取材してきた経歴があり、『会社四季報』編集長としても上場企業3,600社の浮沈を取材・編集。

また、TBS系「がっちりマンデー」（日曜朝7：30～）にゲストコメンテーターとして出演。

受講用URL： [< メール/FAXでご案内いたします >](#)

※ **KIP会員限定公開**となります。会員企業であれば、配信期間内は人数・回数の制限なく視聴可能ですが、URLを他者（非会員）に転送することは禁止いたします。

※ 動画の録画・録音は禁止いたします。

※ 受講後、アンケートにご協力ください。

アンケートURL： [< メール/FAXでご案内いたします >](#)

QRコード

◆お問合せ◆（公財）神奈川産業振興センター KIP会事務局 TEL：045-633-5149